



# ゆっくりを軸とした地区づくりのための 交通・道路・都市のあり方を考える 「人と多様なモビリティが共生する 安全で心ときめくまちづくり調査」 ～フランス調査結果報告を通じて～

本調査研究は、海外の先行事例調査等を通じて、国内展開するにあたっての実現化方策や課題等を検討し、人と多様なモビリティが共生する安全で心ときめくまちづくりの姿を整理することを目的として実施しています。

2022年9月にフランスに行き、都市部におけるゆっくりを軸としたまちづくりの概念、手法、実態の把握を目的に、パリ、アンジェ、ナント、ラ・ロシェルの4都市でヒアリング調査および現地視察を実施しました。フランスにおける低速交通まちづくりの取組みを紹介するとともに、我が国におけるゆっくりを軸とした地区づくりのための交通・道路・都市のあり方を考えます。

日時

2023年5月12日(金)  
15:00 – 18:00(開場14:30)

会場

ベルサール御成門タワーおよび  
オンライン配信

主催

一般財団法人運輸総合研究所

共催

一般財団法人日本みち研究所  
公益社団法人日本交通計画協会

【事務局・問い合わせ】  
一般財団法人運輸総合研究所(担当:矢内・稻本)  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19  
(UD神谷町ビル)  
TEL:03-5470-8415 FAX:03-5470-8401  
E-mail: collo@jttri.or.jp  
HP:<https://www.jttri.or.jp/>



開会挨拶	一般財団法人運輸総合研究所 会長 宿利 正史
調査報告	フランス調査結果報告 一般財団法人運輸総合研究所 客員研究員 三重野 真代 研究員 矢内 直子
基調講演	筑波大学システム情報系 教授 谷口 守
パネル ディスカッ ション	■コーディネーター 筑波大学名誉教授 石田 東生 ■パネリスト FUJII Intercultural S.a.r.l 代表 ヴァンソン藤井由実 自転車総合研究所 所長 古倉 宗治 筑波大学システム情報系 教授 谷口 守
閉会挨拶	一般財団法人日本みち研究所 専務理事 森山 誠二

谷口 守  
(たにぐち まもる)筑波大学システム情報系  
社会工学域教授

1989年京都大学大学院工学研究科博士後期課程単位取得退学。工学博士。1989年京都大学工学部助手、カリフォルニア大学客員研究員、ノルウェー王立都市地域研究所文部省在外研究員、岡山大学環境理工学部助教授、2002年同教授等を経て、2009年より現職。2015年より公益社団法人日本交通計画協会代表理事、2021年より社会資本整備審議会都市計画・歴史的風土分科会分科会長。コンパクトシティ研究で文部科学大臣賞(科学技術賞)(2021年)、都市計画学会石川賞(2022年)、ほか土木学会・不動産学会・都市計画学会等で論文賞受賞多数。『世界のコンパクトシティ』(編著、2019年、学芸出版社)のほか多数の著書を執筆。

古倉 宗治  
(こくら むねはる)公益財団法人自転車  
駐車場整備センター  
自転車総合研究所  
所長

1974年東京大学法学部卒業。同年 建設省採用。東京工業大学助教授、総務庁交通安全対策室参事官、(財)土地総合研究所理事、(株)三井住友トラスト基礎研究所研究理事などを経て、2018年から現職。博士(工学)。国、地方公共団体の自転車関係の各種委員並びに自転車まちづくり関係の論文や講演会、雑誌の連載・寄稿を行う。専門はソフト面の自転車政策。NPO法人自転車政策計画推進機構を主宰し、自治体等の自転車政策や計画を支援。日本環境共生学会賞、日本不動産ジャーナリスト賞受賞。「進化する自転車まちづくり」(大成出版社2019年)などの自転車関係のほか都市計画関係著書を多数執筆。

石田 東生  
(いしだ はるお)筑波大学名誉教授  
SIP「スマートモビリティプラットフォームの構築」PD

東京大学大学院土木工学専攻を修了後、東京工業大学助手、筑波大学社会工学系教授を経て、2017年に定年退職。専門分野は、交通政策・国土政策・社会資本政策。最近ではMaaSやスマートシティに関する提言活動や政府の検討会議に参画している。国土交通省社会資本整備審議会道路分科会長・国土審議会委員、グリーンイノベーション戦略推進会議委員、経済産業省スマートモビリティチャレンジ協議会運営委員長、自動運転ビジネス検討会委員などを務める。著書に、『みち——創り・使い・暮らす』(技報堂)、『歴史の謎はインフラで解ける 教養としての土木学』(産経新聞出版)、『ウェルビーイングを実現するスマートモビリティ』(学芸出版社)など。

ヴァンサン藤井由実  
(VINCENT FUJII  
YUMI)FUJII Intercultural  
S.a.r.l代表

大阪外国语大学(現大阪大学)フランス語科。著述家・フランス都市政策研究者。フランス国家教育省の「外国人への仏語教諭資格」取得。仏政府労働局公認の社員教育講師として、民間企業や公的機関で「日仏異文化マネジメント研修」を企画。現在は公共交通を導入した都市計画、モビリティと都市空間の再編成、地方活性化などのテーマで執筆活動。著書に「ストラスブールのまちづくり」(2012年度土木学会出版文化賞)、「フランスではなぜ子育て世代が地方に移住するのか」、共著に「フランスの地方都市にはなぜシャッター通りがないのか」(共に学芸出版社)。翻訳監修書に「ほんとうのフランスがわかる本」(在日フランス大使館推薦書・原書房)。フランス在住。<http://www.fujii.fr/>

古倉 宗治  
(こくら むねはる)公益財団法人自転車  
駐車場整備センター  
自転車総合研究所  
所長

1974年東京大学法学部卒業。同年 建設省採用。東京工業大学助教授、総務庁交通安全対策室参事官、(財)土地総合研究所理事、(株)三井住友トラスト基礎研究所研究理事などを経て、2018年から現職。博士(工学)。国、地方公共団体の自転車関係の各種委員並びに自転車まちづくり関係の論文や講演会、雑誌の連載・寄稿を行う。専門はソフト面の自転車政策。NPO法人自転車政策計画推進機構を主宰し、自治体等の自転車政策や計画を支援。日本環境共生学会賞、日本不動産ジャーナリスト賞受賞。「進化する自転車まちづくり」(大成出版社2019年)などの自転車関係のほか都市計画関係著書を多数執筆。

牧村 和彦  
(まきむら かずひこ)一般財団法人計量計画  
研究所 業務執行理事 兼  
研究本部企画戦略部長

モビリティデザイナー。東京大学 博士(工学)。筑波大学客員教授、神戸大学客員教授。一般社団法人JCoMaaS理事、一般社団法人日本モビリティマネジメント会議理事。将来の交通社会を描くスペシャリストとして活動。内閣官房未来投資会議、官民連携協議会等に参加。経産省スマートモビリティ推進協議会アドバイザー、国土交通省MaaS委員会の臨時委員、国土交通省ユニバーサル社会におけるMaaSの活用方策についての研究会委員、国土交通省バスタブロジェクト推進検討会委員等を務める。「MaaSが都市を変える～移動×都市のDX最前線(学芸出版社, 2021)、不動産協会賞受賞」のほか多数の著書を執筆。

三重野 真代  
(みえの まよ)東京大学公共政策大学院  
特任准教授  
(一財)運輸総合研究所  
客員研究員

1980年大分県生まれ。京都大学経済学部卒、ロンドンスクールオブエコノミクス(LSE)都市政策修士号取得。2003年国土交通省に入省。観光庁観光資源課専門官、国土政策局総務課課長補佐、京都市役所産業観光局観光MICE推進室観光戦略部長勤務、総合政策局環境政策課課長補佐、復興庁企画官(観光担当)を経て2021年より東京大学公共政策大学院交通・観光政策研究ユニット特任准教授。2022年から一般財団法人運輸総合研究所客員研究員。『グリーンスローモビリティ～小さな電動車が地域と公共交通を変える～』(学芸出版社2021年)を編著出版。

矢内 直子  
(やない なおこ)(一財)運輸総合研究所  
研究員

慶應義塾大学文学部哲学科(美学美術史学専攻)卒業。日本航空株式会社へ入社後、客室乗務職と間接部門での業務職等を経て、2022年4月より現職。現在の研究テーマは、「航空CO2排出削減方策と周知啓発」「欧州等の公共交通事業調査(モビマチ)」「観光産業の基盤強化・事業革新」「欧州等の観光産業調査」。

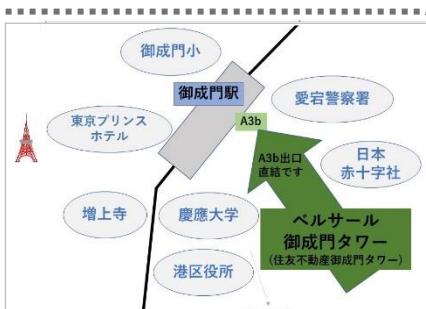


## 会場アクセス

## ベルサール御成門タワー

東京都港区芝公園1-1-1 住友不動産御成門タワー3F

「御成門駅」A3b出口直結(三田線)  
「大門駅」A6出口徒歩6分(大江戸線・浅草線)  
「浜松町駅」北口徒歩10分(JR線)  
「モノレール浜松町駅」北口徒歩11分  
(東京モノレール)  
※近隣には「ベルサール御成門駅前」がございます。  
お間違えのないようお気を付けください。



## お申込み方法

下記のURLよりお申し込みください \*無料

<https://krs.bz/jterc/m/seminar230512>

(申込期限:5月10日(水)まで)

※会場参加は定員に達し次第、締め切ります。

※オンライン配信をお申し込み頂いた方には、

5月11日(木)午後までに視聴用URLを送付いたします。

